

令和4年度北谷高等学校国語科シラバス（授業の目標・計画書）

教科	科目	単位	学年	必履修・選択	対象クラス
国語	現代文B	3	3	必履修	1～7組

1 目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じかた、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 授業概要・到達目標

- ①小説・物語などの文学的な文章（古典作品を含む）では、舞台設定・構成・文体の特徴をつかみ、登場人物の心理の変化を読み取り、人生についての考えを深める。
- ②評論・議論などの論理的な文章では、段落相互の関係をつかみ、論理の展開や要旨を的確に捉え、具体例とその抽象化・一般化の手法を学ぶ。新鮮な視点と柔軟な思考で物事を捉え、物事を根本から考える姿勢を学ぶ。
- ③詩・短歌・俳句などの韻文については、音読や朗読、唱和を通して詩の韻律に親しみ、詩の情景を読み取る。文体や修辞など表現上の特色を捉え、作者の感動の焦点を明らかにしながら作品を鑑賞する。
- ④表現では、場に応じた適切な表現を工夫し、的確に話したり、文章にまとめたりする。

3 評価方法

〈定期考査〉学期ごとに中間考査・期末考査を実施する。考査に関しては、全クラス共通とし、出題は授業内容を主とする。
〈提出物〉授業の進度に応じ、授業中又は自宅学習等でプリント・課題作品・ノート等を提出させる。
〈授業〉授業の出欠状況、授業中の態度、発問への主体的取り組みの姿勢等により総合的に判断する。
〈小テスト〉教材や状況に応じて、理解の確認のために小テストを授業内で実施する。

4 使用教科書

改訂版 明解現代文B （三省堂）（第3学年では第Ⅱ部を扱います）

5 使用副読本

改訂版 明解現代文B 学習課題ノート（三省堂）
カラー版 新国語便覧（第一学習社）

6 授業の展開と形態

普通科（特進型） 1クラス
（普通型） 6クラス

7 学習方法及び履修上の注意

- ・学習用具を忘れない。（教科書・筆記用具・必要に応じて資料集など）
- ・ノートまたは学習プリントを毎時間とる。
- ・授業には遅れずに参加し、集中して臨む。
- ・提出物は必ず期限内に提出する。

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に関き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

3 学習計画及び評価方法など
(1) 学習計画など

第 1 学 期									
月	学習のねらい	配 当 時 間	言語活動例	教材	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲
4	○幼い頃の思い出をとおして描かれる、友達との交流の様子を読み取る。 ○できごとの内容を整理しながら、それぞれの場面での心情を捉える。 学習指導要領の指導事項 イ／オ	3	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	さくらももこ「春の小川の思い出」 日本語ストレッチ1 主述の照応を整える	関心・意欲・態度	随想に表れた筆者の思いやものの見方に関心をもち、理解を深める。	随想に表れた筆者の心情やものを見る視点に関心をもち、理解を深めようとしている。	行動の観察	第1学期 中間考査
					読む能力	身近なできごとを取りあげた随想の中に表現されている心情やものの見方を捉える。	日常的なできごとを描いた随想の中に表れた心情やものの見方を的確に把握している。	行動の分析	
					知識・理解	文章における主語と述語の照応を理解する。	文章における主語と述語の照応を理解し、適切に文章を書くことができる。	記述の確認	

5	○筆者が指摘する『枕草子』の現代に通じる感性や思考はどのようなことか考える。 ○具体例とそれに対する考えとの関係を捉えながら、筆者の意図を捉える。 学習指導要領の指導事項 イ／オ	3	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	小川洋子「千年の時が与えてくれる安堵」 日本語ストレッチ2 修飾語の係り受けを整える ブックガイド1	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	筆者が指摘する『枕草子』の現代に通じる感性や思考はどのようなことか考える。 文章から、具体例とそれに対する考えとの関係を捉え、そこから筆者の意図を捉える。 修飾語の係り受けについて理解する。	筆者が指摘する『枕草子』の現代に通じる感性や思考がどのようなことか、自分なりに考えようとしている。 文章から、『枕草子』の具体例とそれに対する考えとの関係を捉え、そこから筆者の意図を捉えている。 修飾語の係り受けについて理解し、適切に文章を書くことができる。	行動の観察 記述の確認 記述の確認	第1学期 期末 未 考 査
	○閉じ込められた山椒魚の、変化する思いを読み味わう。 ○小説の展開を捉えるとともに、優れた表現・文体の効果を明らかにする。 学習指導要領の指導事項 イ／オ	5	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	井伏鱒二「山椒魚」 日本語ストレッチ3 長い文をわかりやすくする	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	主人公が置かれた状況を、自分の身置き換えて考える。 登場人物の心理の変化と物語の山場での思いについて、文の構成や展開、表現などを考え合わせながら総合的に捉える。 わかりやすい文章表現を身につける。	山椒魚が陥った状況に、もし自分がなったとしたらどういうことを考えるか、さまざまに想像しようとしている。 山椒魚の思いの変化を蛙のそれと比較して捉え、結末に関して自分なりの意見をもって述べるができている。 伝えたいことが、読み手に適切に伝わるよう文章を書くことができる。	行動の観察 行動の分析 記述の分析 記述の確認	
	○特別で微妙な関係にある、感受性豊かな高校生どうしの思いを、想像豊かに味わう。 ○一人称の語りから、「ピクニック」や三人の登場人物それぞれに対する心情を読み取る。 学習指導要領の指導事項 イ／オ	4	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	恩田陸「ピクニックの準備」 ブックガイド2	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	登場人物たちの関係とそれぞれの思いを、文脈を追いながら捉える。 登場人物のそれぞれが置かれた状況とその思いを捉える。 日常的に用いられる慣用句の意味を理解する。	登場人物たちの特殊な関係と、それぞれが抱いている思いについて、整理して捉えようとしている。 特殊な関係の二人の主人公とその友人の三者が、どういう状況でどんな思いを抱いているかを、叙述にそって捉えている。 日常生活で用いられる慣用句の意味を理解し、適切に使うことができる。	記述の確認 行動の分析 記述の分析 記述の分析	
6	○筆者の主張を捉え、科学という方法がどういうものであるのか考える。 ○評論文における文章の構成と、論の組み立て方を明らかにする。 学習指導要領の指導事項 ア／オ	5	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	森博嗣「科学的というのはどういう方法か」 日本語ストレッチ4 さまざまな文を整える	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	全文を通読し、科学的な考え方というものがどういうものか、自分の考えをもつ。 科学と非科学との境界がどこにあるのか、筆者の考えを捉える。 文章の組み立て、語句の意味、用法などを理解し、語彙を豊かにする。	あげられたそれぞれの具体例ごとに、筆者が科学的、非科学的と判断する根拠を理解し、自分の考えをもとうとしている。 「科学」といえるためにはどういうことが必要なのか、理解している。 段落と論理の流れについて理解している。	行動の観察 行動の観察 記述の確認 記述の点検	
	○「ホンモノ」というキーワードを手かがりにして、お金とは何かについて考える。 ○具体例を明らかにしながら、構成にしたがって論理を捉える。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	5	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	岩井克人「ホンモノのおカネの作り方」 日本語ストレッチ5 敬語① ブックガイド3	関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解	「ホンモノのおカネ」に関する筆者の論の展開のおもしろさを捉える。 具体例とそこから導き出される論理とを整理してまとめる。 「逆説」による論理の展開を理解する。 敬語の表現について理解する。	「おカネ」の本質とは何か、実例を駆使して説明する筆者の論の展開のおもしろさを捉えようとしている。 「ホンモノのおカネ」とニセガネとの違いの具体例から、「おカネ」の本質とは何なのか、筆者の考えを逆説的な論の展開を追いながら的確に捉えている。 「逆説」による論理展開を実例と関連させて理解している。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の観察 行動の分析 記述の分析 行動の分析 記述の確認	
	○水槽に沈んでいるユメカサゴの姿を想像し、「ユメ」とはなんなのかを考えながら詩を味わう。 学習指導要領の指導事項 イ	1	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	吉原幸子「ユメカサゴ」	関心・意欲・態度 話す・聞く能力 知識・理解	詩の内容に合ったリズムや音色で、工夫をこらして朗読する。 詩の中で形象化されているイメージがどのようなものであるのかを読み取る。 詩の表現上の特徴を捉える。	詩に内在するリズムや、詩から感じ取られる情感を工夫して表現し、朗読しようとしている。 美しい熱帯魚たちと比較して描かれた詩の中の「そいつ（ユメカサゴ）」の姿から、ユメがどのようなものとして考えられているかを読み取っている。 詩の中の語の表記や詩のリズムなど、表現上の特徴を捉えている。	行動の分析 行動の分析 行動の分析	

【課題・提出物など】
①授業で使したプリントやワークシート
②授業で作成した資料や制作物など
③相互評価カード
④授業ノート

【第1学期の評定方法】
①課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
②学期全体の評定は、提出物の評価10％、期末考査の成績60％、小テスト10％、学習活動への参加の姿勢や態度20％です。

第 2 学 期										
月	学習のねらい	配 当 時 間	言語活動例	教材	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲	
9	○「いもうと」と別れることになる朝、「わたくし」は何を考え、「いもうと」のために何をするのか、「わたくし」の気持ちになっ て詩を深く味わう。 学習指導要領の指導事項 イ	2	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	宮沢賢治「永訣の朝」	関心・意欲・態度	さまざまに工夫された表現や構成から、筆者の思いを捉える。	方言の使用や独特の情景描写が「わたくし」の心情表現にどのような効果を与えているのか、捉えようとしている。	行動の観察	第2学期 中間 考 査	
					読む能力	詩の中のさまざまな形の表現や構成の技巧が、心情の表現にどのように効果的にはたらいっているかを捉える。	妹に対する「わたくし」の思いを、方言を使った心中語の表現を中心に内容、構成の両面から的確に捉えている。	行動の分析 記述の分析		
					知識・理解	方言の使用など、詩の特徴を理解する。	方言の使用など、詩の特徴を理解している。	行動の確認		
	○繰り返し音読してリズムを味わい、俳句に描かれた情景や心情を豊かに想像する。 学習指導要領の指導事項 イ	4	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	「ノートの先に海 俳句十二句」	関心・意欲・態度	俳句という短詩型文学のおもしろさを捉える。	俳句という独特の短詩型文学の特徴やおもしろさを捉えようとしている。	行動の観察		
読む能力					それぞれの俳句がもつ特徴と感動の中心を捉え、文章にまとめる。	それぞれの俳句において表現されている感動の中心を捉え、それに対する自分の意見を書いている。	記述の分析			
知識・理解					俳句の修辞など、基本的な知識を身につける。	季語や切れ字がどのようなものか、理解している。	行動の確認			
10	○模擬面接の中での自己PRにおいて、自分の良さをどのようにアピールし伝えていくか、手順を追いつながり体験する。 学習指導要領の指導事項 エ	3	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。	自己PRをしよう	関心・意欲・態度	自分の将来に向けて必要な自己PRの方法について興味をもち、実際に体験する。	模擬面接に向けて自分自身の長所をみつめ、自己PRを通じて実際にそれを伝えようとしている。	行動の観察		
					読む能力	自分の長所を客観的な視点から捉え、整理して、模擬面接の中で実際に表現する。	自分の長所を簡潔に客観的な視点から見て整理し、模擬面接を通じて他人に効果的に伝えている。	記述の分析 行動の分析		
					知識・理解	面接における言葉遣いの基本を理解する。	面接において適切な言葉遣いで話すことができる。	行動の分析		
	○筆者のいう〈世界〉や〈聖域〉とは、どのようなものなのかを考える。 ○自身の経験と関係づけながら筆者の考えの変化を読み解く。 学習指導要領の指導事項 ウ／オ	3	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	見田宗介「コモリン岬」 日本語ストレッチ6 敬語②	関心・意欲・態度	筆者の経験を自分の経験と結びつけ、読み取った内容を深める。	筆者の発見が書かれている箇所を確かめ、自分にも同じような経験がないか、確かめようとしている。	行動の確認		
読む能力					筆者の発見の中心を本文に即して的確に捉える。	できごとの時間的な推移とその関係を正確に捉え、筆者の発見した内容を正しく指摘したり、まとめたりしている。	記述の確認			
知識・理解					中心になるできごとと筆者の考えが文章の中でどのような関係になっているか、理解する。 敬語の表現について理解する。	できごとの描写と考えの叙述を正しく区別し、その関係を理解している。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	記述の分析 記述の確認			
11	○なまけものの姿をとおして語られる文明批評の精神について考えを深める。 ○「逆説」「比喩」などを多用した、独特な表現方法の効果を理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ／オ	3	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	別役実「なまけものコンプレックス」 ブックガイド4	関心・意欲・態度	筆者が取りあげた具体例が何を表すのかを捉える。	筆者がなぜなまけものの様子に興味をひかれたのかを考えようとしている。	行動の観察		
					読む能力	具体例をとおして語られる現代人間社会への批評的視点を捉える。	筆者がなまけものの姿をとおして逆説的に語る人間社会への批評の意味を捉えている。	記述の分析		
					知識・理解	主要な常用漢字の音訓を理解する。	主要な常用漢字の音訓を正しく理解し、書くことができる。	記述の確認		
	○主人公の生き方や人間の運命について考えを深める。 ○漢文調の文章を味わうとともに、人物の言動から人物像を明らかにする。 学習指導要領の指導事項 イ／オ	7	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	中島敦「山月記」 日本語ストレッチ7 敬語③	関心・意欲・態度	小説の話の展開のおもしろさを理解する。	中国の古典を基にした虎への変身譚のおもしろさがどのようなところにあるのか、理解しようとしている。	行動の観察		
読む能力					自己を物語ることににより、主人公が自己をみつめ、変貌していく姿を読み取る。	主人公・李徴が苦悩し、破滅し、再会した旧友に自らを語ることににより、自己をみつめ、変貌する姿を捉えている。	行動の分析 記述の分析			
知識・理解					小説の構成について理解する。 敬語の表現について理解する。	小説の緊密に計算された構成について理解している。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の確認 記述の確認			
12	○他者とのやりとりによって自分自身の在り方の内省へ向かっていく主人公の姿を捉える。 ○作中の人物の言動をとおして、複雑に動く登場人物の関係性や心情を捉える。 学習指導要領の指導事項 イ／オ	5	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	梅崎春生「魚の餌」 日本語ストレッチ8 敬語④	関心・意欲・態度	自分の経験したことを語るということへの興味をもち、その語る行為が自分に何をもたらすかについて自分なりの考えをもつ。	主人公と小さな兄弟とのできごとを語ることで、主人公自身への省察が深められていくことについて、自分なりに考えようとしている。	発言の確認		
					読む能力	小説中の表現から登場人物の心情や状況を読み取る。	小説の表現の中に暗示的や象徴的に示される主人公および兄弟の心情を細かく読み取り、その背景にある戦争という時代状況も捉えている。	記述の確認		
					知識・理解	常用漢字の音訓や難解な語句の意味を理解し、読んだり書いたりし、短文などの中で使用する。 敬語の表現について理解する。	出てくる常用漢字の読みに慣れ、正しく書けるようになるとともに、難解な語句の意味を調べ理解する。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の観察 記述の確認		
	○私たちにあってあるべき「自由」について、考えを深める。 ○言葉の定義を確かにして文脈を読み取る。 学習指導要領の指導事項 ウ／オ	4	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	鷲田清一「『自由』のはき違え」 日本語ストレッチ9 敬語⑤	関心・意欲・態度	緊密な構成による論理展開と、それが導き出す結論を捉える。	私たちにあって「自由」とは何であり、「自由をはきちがえる」とはどういうことかを捉えようとしている。	行動の観察		
読む能力					文章の中での重要語句（キーワード）に着目し、どのようにして結論に至るか、その道筋を捉える。	文章中の、結論に結びつくいくつかのキーワードをあげ、結論を導く論理の流れを説明している。	記述の分析			
知識・理解					重要な対義語や類義語の意味を把握する。 敬語の表現について理解する。	重要な対義語や類義語を文脈の中で理解している。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	行動の確認 記述の確認			

- 【課題・提出物など】
 ①夏休みの課題
 ②授業で使
用したプリントやワークシート
 ③授業で作成した資料や制作物など
 ④相互評価カード
 ⑤授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ①課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
 ②学期全体の評定は、提出物の評価10％、期末考査の成績60％、小テスト10％、学習活動への参加の姿勢や態度20％です。

第 3 学 期									
月	学習のねらい	配 当 時 間	言語活動例	教材	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲
1	○「時間」や「未来」とは何かについて の確認をとおして、「現在」の在り方を考える。 ○問題提起と、それに対する答えという 対応を明らかにして、文章の主旨を 読み取る。 学習指導要領の指導事項 ウ／オ	5	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	養老孟司「かけがえのない未来」 日本語ストレッチ10敬語⑥ ブックガイド5	関心・意欲・態度	「時間」や「未来」について、自分なりの考えをもつ。	「現在」と「未来」の関係について、改めて自分なりに考えようとしている。	発言の確認	第3学期 期末 考 査
					読む能力	文章の主旨を読み取り、批評的に捉えて、「時間」や「未来」について考えを深める。	子どもがなぜ割を食うのかを説明でき、それについての自分の考えをもっている。	発言の分析	
					知識・理解	冒頭と末尾の呼応という視点から、文章の構成の特徴を理解する。 敬語の表現について理解する。	冒頭の抽象的な物言いを、本文に即して具体的に説明できている。 敬語の表現について理解し、適切に使うことができる。	記述の確認 記述の確認	
2	○戦争の状況を捉え、平和について考えを深める。 ○文章表現における語句の使い方を吟味し、的確な描写を味わう。 学習指導要領の指導事項 ウ／エ	5	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	半藤一利「十五歳の東京大空襲」	関心・意欲・態度	社会的なできごとを描いた文章を読み、そこに生きる人間の姿を捉える。	東京大空襲という社会的なできごとを現実経験した人間の視点から、そこで生きる人間の姿がどのようなものであったか関心をもち、捉えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	事実を描いた文章を読むことを通じて、社会的事実とともにそこに生きた人間の思いを理解する。	東京大空襲という歴史的なできごとがどういうものであり、そこに生きた人間が何を感じ、どう捉えているのかを理解している。	行動の分析 記述の分析	
					知識・理解	難しい訓読みの読みを理解する。	難しい訓読みの読みを理解している。	記述の確認	
3	○十五歳の少年が経験した東京大空襲の記録を読み、自分の意見を文章で表現する。 学習指導要領の指導事項 エ	3	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	自分の意見を書こう	関心・意欲・態度	戦争の記録を読み、そこで生きた人間の思いを捉え、意見を述べる。	書かれた記録の事実を順を追ってまとめ、実際に体験した筆者の思いを捉え、自分の意見を述べようとしている。	行動の観察	
					書く能力	戦争という悲惨な現実を実際に体験した筆者の視点をふまえ、戦争というものに対する自分なりの考えを形成し、文章に表現する。	筆者の具体的な経験の叙述と、そこで感じた思いを整理し、戦争というものにどのように向き合うのか、自分なりの考えをもち、文章に表現している。	記述の分析	
					知識・理解	原稿用紙の正しい書き方や表記について理解する。	句読点や記号、改行、段落、数の表記の仕方など、原稿用紙の書き方の基本的な規則を理解している。	記述の確認	

【課題・提出物など】
 ①冬休みの課題
 ②授業で使ったプリントやワークシート
 ③授業で作成した資料や制作物など
 ④相互評価カード
 ⑤授業ノート
 【第3学期の評定方法】
 ①課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
 ②学期全体の評価は、提出物の評価10％、期末考査の成績60％、小テスト10％、学習活動への参加の姿勢や態度20％です。

【年間の学習状況の評定方法】
 「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。